

Unit1 Part2 相手確かめよう 1/2 (教科書 24,25 ページ)

◇Target (目標)◇ 「あなたは～です。」という表現が使えるようになる。

<事前に準備するもの>

前回 (No.9) と同じです。

Step 1

教科書 24 ページ【語句】の確認をする。

①教科書 22 ページを開き、インターネットで「東京書籍 リスニング CD サンプル」を検索する。

②「Unit1—Part2—語句」の音声を聞いて、発音する。(are から club まで)

③ノートに語句と意味(辞書で調べましょう)を書き、5回ずつ書く。

※辞書がない人は教科書 132 ページ以降の Word List を使いましょう。

Step 2

You are ～「あなたは～です。」という表現を覚える。

①教科書 25 ページを開き、「リスニング CD サンプル」の「Unit1—Part2—基本文 2」の音声を聞いて、発音する。

You (あなたは) are (～です) Ando Saki. (安藤 咲)
= あなたは安藤 咲です。

②紫色のファイルにある「⑥ You are Ken.」というプリントに取り組み、答え合わせを行う。

③ノートに「あなたは～(クラスメイトの名前)です。」という英文を5文書く。

Step 3

文法(be 動詞の使い分け)の整理をする。

①空欄に適する語句を入れて、文章を完成させる。(ノートに書き写しましょう。)

be 動詞 (am と are) は、主語によって使い分ける。

主語が I なら ()、You なら () を使う。

※「e-ライブラリ」を活用するとともに、東京書籍の HP 上にある「文法学習」の動画等も参考にしてください。「東京書籍 臨時休業中に 児童生徒のみなさんが活用いただけるコンテンツ (中学校)」で検索